

交換留学(派遣) 帰国報告書

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	リール大学
留学先での所属学部・研究科:	社会学部
留学先での在籍身分:	
留学期間:	2018/09/01~2019/06/30
神戸大学での所属学部/研究科:	国際文化学部
学年(出発時):	3年
帰国日:	2019/7/2
本報告書記入日:	2019/7/22



1. 留学先大学について		
1-1	学年開始月日:	9月6日
	学年終了月日:	6月30日
	学期:	① 9月6日~12月22日
		② 1月14日~6月30日(再試験期間を含む)
	③ 月 日~月 日	
	④ 月 日~月 日	
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	
	留学先大学のサポートについて記入ください。	
1-3	語学面でのサポート:	留学生向けのDEFIという付属の機関で、フランス語を学習することができる。学期始めに4時間×5日間。その後週一回3時間。希望制。
	勉学面でのサポート:	直接、教授に留学生であることを伝え配慮をお願いすると、試験時の辞書の持ち込み許可など柔軟に対応してくれた。ただし学部によって対応は大きく異なる聞いた。
	精神面でのサポート:	特になし
	住居・生活面でのサポート:	希望すれば必ず学生寮を割り当ててくれる。
	課外活動のサポート:	留学生同士が交流できるようなイベントを学期に2回ほど開催してくれていた。
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	クリックで別シートへ
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか?	はい

2. 住居について		
2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	リール大学の寮では、日本人を狙った空き巣が多数発生していたので、パスポート財布等は部屋に置いておかず、常に携帯するべきです。

3. 生活について		
3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	smartcampus という名の全寮共通のWi-Fiに接続することができる。無料。
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	留学生は接続できなかった。
3-2	医療について	
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	歯医者に行った。日本より少し高いぐらいだった。社会保険に入れば7割の返金を受けられた。
3-3	銀行口座等について	
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	現地口座を手続きのために開設したが、お金を引き出すのには日本で作った、三井住友銀行のデビットカードを使っていた。周りも同様の方法を用いている人が多かった。

4. 経費について(奨学金、留学費用)		
4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	Jasso奨学金
	支給額(円/月):	80000円
	その他(渡航費等の支給):	
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	156000
	住居費:	25000×10=250000
	食費:	30000×10=300000
	保険料:	80000
	その他:	400000
	合計(留学期間全体の費用):	1186000

5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	よく行ったケバブ屋さんやバーの店主と話した程度。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	していない
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	比較的穏やかで平和な街だと感じた。が、到着して間もないころは、私のおどおどした様子からか、「日本人? 中国人? 」と声をかけられることがしばしばあった。

6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	していない

7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	先輩からはこれとこれとこれは日本から持って行った方がいいと、いろいろ教えていただきましたが、実際私は向こうでなんでも手に入ると思ったし、そんなに頑張って色々持って行く必要はないと思います。
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	語学力の向上。また人に頼る力
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:(15) 点 → 帰国後:(65) 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	適切であった。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	薦める。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	5
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	3
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	4
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	3
	・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか	2
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	4
	・留学全体の総合的な評価	4

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)		
<p>フランスに留学するといったらほとんど100パーセント「パリ? 」と聞かれますが、日本ではあまり知られていない、フランス北部の街リールもとても魅力的な場所でした。ヨーロッパのいろんな国へのアクセスが大変よく、また中心街はこじんまりとしていて、穏やかで暮らしやすい街だったと思います。最初の一週間は語学の授業で、事前に受けたテストの結果により分けられたクラスで勉強しましたが、ペーパーテストの結果はさほど変わらないはずの、他の留学生がとても上手に、よくしゃべるのでとても圧倒され縮こまってしまいました。でも日々、フランス語に囲まれて生活して行く中で、この美しい言語を話したいと言う気持ちが大きくなり積極的に話していけるようになりました。学部の授業はもちろん語学の授業の何倍も大変で、初めて出席した授業は今でも夢に出てきそうなほど、先生が話すことが何一つとして、頭に入って来ず、心が折れましたが、ノートを見せてくれたり、自分の時間を何時間も使って説明してくれた現地の学生のおかげで、すべてというわけにはいきませんでした。なんとか単位を取得して帰ってくることができました。フランス語能力がだんだん向上してきても、テストの解答用紙に書くことができるようなきちんとした文章を作成することができるころまでには中々至らなかったです。留学前に思い描いていたほど語学力がぐんと伸びるということはありませんでした。でも今自分が持っている能力を駆使して、いろんな人と話したり、またいろんな人を頼って、目標を達成しようと努力する能力を、留学を通して身につけることができました。授業以外では、ヨーロッパ中を旅したり、授業後に友達とバーで、ゆっくりお酒を飲みながらおしゃべりしたり、リールやその近郊で開催されるさまざまなイベントに参加したりと、とても楽しい時間を過ごすことができました。海外旅行がとても身近なものになってきて、現地の言語どころか英語もさほど話すことができなくても、世界のいろんな場所に行くことができる時代の中で、その中の一つの場所で1年間じっくりと過ごせたことは、とても貴重な経験であったと思います。</p>		

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数／週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	expression francaise		2	3	フランス語	20	最終プレゼンでほとんど評価が決まる
2	histoire moderne		2	3	フランス語	30	採点は留学生にもシビア
3	sociologie de l'education et de la formation		2	3	フランス語	100	教育学部の授業。授業中の私語が多く先生の声がききとれないことがあった。
4	Histoire de l'ecole en France		2	3	フランス語	100	毎回章立てで少しずつ内容が変わるので一度ついていけなくても次回から頑張れば大丈夫
5	Mobiite internationale		2	3	フランス語	60	日本語を学んでいるフランス人学生と交流できて非常にたのしい
6	Sociologie des structures sociales		2	3	フランス語	80	非常に難しかった

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

授業は基本的にCM/TDという2種類に分かれます。CMIは大教室での大人数むけの講義、TDは神大の言語のクラス程の規模での授業です。CMの授業は学生はあまり集中しておらず私語も多かったです。